

先生各位

## 検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検査内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

## 記

《変更日》 平成 19 年 6 月 4 日(月) 受付分より


《変更内容》

2007年 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.86	1823 1824	ウイルス分離 ウイルス同定 <sup>1</sup>	検体量	次頁参照	総合検査案内 (p.86)参照
			保存条件	冷蔵	凍結・冷蔵
			容器	V	K・V2・V3・U2・E1
			所要日数	分離：7～24日 同定：16～31日	分離：10～25日 同定：17～33日
			検査方法	細胞変性効果、血球吸着現象、ふ化鶏卵の羊水および漿尿液の赤血球凝集反応	
			備考	分離、同定検査は下記の細胞を使用しています。 2	症状が出てから3～5日以内に採取

1 ウイルス同定は、ウイルス分離が陽性時に実施となります。

2 PHfb(ヒト繊維芽細胞)・HEp-2(ヒト喉頭癌細胞)・Vero(モルガッリ腎細胞)・MA104(アモガッリ腎細胞)・RD-18S(ヒト横紋筋腫細胞)・MDCK(マウス腎細胞)・B95a(マウスB細胞)・AGMK(アフリカモルガッリ腎細胞)・A549(ヒト肺癌細胞)

採取容器(V容器)の形状および内容

	内容	保存液
	容器の貯蔵方法 有効期限	冷蔵 6 ヶ月
	適用検査項目と採取上の注意点	
ウイルス分離 ウイルス同定		
検体の採取方法は次ページをご参照ください。		

## 検査材料

ウイルス分離・同定検査を実施するためには適切な分離用検査材料と、同時に発病後できるだけ早期に採取することが大切です。ウイルス分離材料の選択は、分離率向上のため、できる限り複数の材料をご提出ください。

臨床症状	分離可能ウイルス	主要検査材料
上気道感染症	ライノ、パラインフルエンザ	咽頭拭液、鼻分泌液
	アデノ、コクサッキー、エコー、レオ	咽頭拭液、糞便
下気道感染症	インフルエンザ、パラインフルエンザ、アデノ、RS、サイトメガロ	咽頭拭液、喀痰、気管支洗浄液
紅斑性発疹症	麻疹、風疹	咽頭拭液
	エコー、コクサッキー	咽頭拭液、糞便
水疱性発疹症	単純ヘルペス、水痘・帯状ヘルペス	水疱内容
	コクサッキー、エンテロ 71	水疱内容、咽頭拭液、糞便
中枢神経系疾患	エコー、コクサッキー、ポリオ	咽頭拭液、髄液、糞便
	水痘・帯状ヘルペス、ムンプス	咽頭拭液、髄液
先天性異常	サイトメガロ、風疹	咽頭拭液、尿、髄液
	単純ヘルペス、水痘・帯状ヘルペス	水疱内容
嘔吐・下痢症	エコー、コクサッキー、アデノ	咽頭拭液、糞便
	ロタ	糞便
出血性膀胱炎	アデノ	尿
耳下腺炎	ムンプス	咽頭拭液
眼疾患	アデノ、単純ヘルペス、エンテロ 70、水痘・帯状ヘルペス	結膜拭液

## 検体採取および保存方法

検査材料	ウイルス専用容器への採取方法
患部拭液・水疱内容・糞便 等	滅菌綿棒で拭い、下記の採取方法でウイルス専用保存液に採取し、冷蔵保存してください。
尿・髄液・胸水・鼻汁 等	下記の採取方法でウイルス専用保存液と等量の検体を採取し、冷蔵保存してください。
組織	組織小片（5mm 角程度）をウイルス専用保存液に入れ冷蔵保存してください。



《 変更理由 》

委託先の変更

《 注意事項 》

- ・“全血”材料での検査は、受託不可となりますのでご注意ください。
- ・6月30日(土)受付分までは、旧容器での受託もさせていただきます。その後は新容器“V”での受託となりますのでご注意ください。